

(別添資料1)

事業所名

インディゴキッズ

支援プログラム(参考様式)

作成日

2025 年

9 月

22 日

法人理念		子どもの可能性を引き出す支援に重きをおき、生活能力の向上や社会との交流促進を図るための訓練を計画的に提供する従来の「預かり」という役割に加え、より専門的な「療育」を意識し、子どもの「得意」を伸ばす「オーダーメイドの支援」を目指す									
支援方針		個別支援計画を策定・運用するにあたり、子どもの現状、課題、ニーズを多角的に把握するためのアセスメントを徹底する 5領域(健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)の視点を個別支援計画に明確に記載しこれらすべての領域を網羅した包括的な支援を提供する。計画のPDCAサイクル(Plan-Do-Check-Action)を適切に回し、支援の継続的な質の向上を図る									
営業時間		平日	9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日	8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・来所時の健康チェックを行い、その日の体調や特性を把握する ・手洗いやうがいを励行し、規則正しい生活習慣の定着を支援する ・食事の準備や後片付け、衣服の着脱など、発達段階に応じた日常生活スキルの習得をサポートする									
	運動・感覚	・バランスボールなどを用いた遊びを通じて、平衡感覚を養う ・特別な運動プログラムを提供し、身体能力の向上を図る ・砂遊びや水遊びなど、感覚統合を促す遊びを支援に取り入れる									
	認知・行動	・発達段階に応じた学習サポートを行い、自己管理能力や集中力の向上を促す ・課題をスモールステップに分け、成功体験を積み重ねることで自己肯定感を育む ・ルールのあるゲームや活動を通じて、集団におけるルール理解を促す									
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションを促進するゲームや会話練習を実施する ・要求や拒否を伝える手段として、絵カードや指差しを導入する									
	人間関係 社会性	・小集団での遊びや活動を通じて、他者との関わり方を学ぶ機会を提供する ・役割分担のある創作活動などを通して、協調性や達成感を育む ・近隣の公園清掃やイベント参加など、地域交流の機会を設ける									
家族支援		・保護者の不安や努力に寄り添い、信頼関係を構築する ・家庭ですぐに実践できる具体的なアドバイス(例:環境設定や声かけの方法)を少しずつ伝えるペアレント・トレーニングを案内するなど、保護者が子どもの特性を深く理解し、適切な対応を学ぶ機会を設ける						移行支援		・本人の希望や特性を踏まえ、長期的な視点での目標(例:就労、グループ活動等)を設定し、達成に向けて支援する ・本人や保護者、相談支援事業所と連携し、放課後児童クラブなど、一時的な支援の場と連携し、継続的な支援を図る	
地域支援・地域連携		・事業所との交流会、地域資源を活用したプログラム ・学校との年間計画や行事予定を共有し、役割分担を明確にする ・相談支援事業所と担当者会議などを開催し、共通の目標設定と情報共有を図る ・個人情報保護に関する同意書を作成し、関係機関間での情報共有ルールを明確化する						職員の質の向上		・個人情報保護に関する同意書を作成し、関係機関間での情報共有ルールを明確化する ・専門職(理学療法士、作業療法士等)と連携し、職員の専門性を高めるための研修や勉強会を実施する	
主な行事等		・季節のイベントやレクリエーション活動を計画し、子どもの自己肯定感を育む ・地域との交流を図るため、近隣の祭りやイベントに合わせた創作活動を企画する ・子どもたちが協働して取り組めるような、テーマ別の創作ワークショップや発表会を開催する									